

## 博士の学位授与の取消しについて（概要）

### 1 対象者等

対象者氏名	景 輝（けい き）
当時の所属	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻
学位授与日	平成 28（2016）年 4 月 14 日
学位の種類	博士（工学）
論文題目	Graphical Game Theoretic Optimization of Energy Efficient Communication in Multihop Wireless Sensor Networks （マルチホップ無線センサネットワークの通信におけるエネルギー利用効率のグラフィカルゲーム理論に基づく最適化）

### 2 取消し事由

当該学位請求論文について不正行為の事実を認定し、本学学位規則第 17 条における「不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき」に該当すると判断した。

### 3 不正行為の内容

当該学位請求論文を調査した結果、計算機シミュレーションで得られる結果を、あたかも実際に実験を行って得られた結果であるかのように記述していること、また、当該記述が同論文の中心的な位置づけとなる章であることが確認された。

### 4 調査経緯

不正行為に関して、工学系研究科に調査委員会を設置し、当該論文の調査（実験データ等含む）、被授与者・指導教員・論文審査委員へのヒアリングを経て、不正行為の存在が確認されたため、被授与者への弁明の機会を付与した。弁明等を踏まえた調査結果に基づき、全学の委員会において不正行為を認定した。次いで、学位授与の取消しに関して、工学系研究科に検討委員会を設置し、同委員会の検討結果を受け、同研究科教育会議において審議し、学位授与の取消しが相当であると判断した。被授与者に弁明の機会を付与した後に、全学の委員会において意見を聴くなど慎重な審議・手続を経た後に、同研究科教育会議において学位授与の取消しが相当であることを決定した。その結果を踏まえて総長が令和 6 年 3 月 25 日付けで学位授与の取消しを決定した。

### 5 学位授与の取消しを受けた対応

東京大学では、このたびの事態を重く受け止め、全学における再発防止への取組として研究倫理意識の醸成と公正な研究環境の整備を推進する。また、工学系研究科においては、引き続き学生に対する研究倫理教育を徹底するとともに、研究資料等の適切な保存の周知徹底、指導教員による実験データ等の確認の徹底など、再発防止に取り組むこととした。